

令和3年度 第2回学校運営協議会実施報告

実施日時：令和3年11月1日（月） 15:40～17:05（14:30～授業見学）

実施場所：本校会議室

学校運営協議会

委員 出席者（五十音順、敬称略）

足立委員、長田委員、塩見委員、田中委員、中山委員、春山委員

事務局出席者

明石（校長）、田中（教頭）、田澤（事務長）、美濃（首席）、佐藤（首席）、山下、松原
三森、諸井、橋本、國府、江良（分掌長・学年主任） 合計12名

議事：

1. 授業力向上（本日の授業見学）について
2. 各学年分掌から進捗状況報告について

◎委員 ○校長 ●事務局 ◇授業担当者

<1. 授業力向上（本日の授業見学）について>

【コミュニケーション英語Ⅰ】

◇英語を得意とする生徒や苦手とする生徒がいますが、授業では単語の習得に重きをおき時間をかけています。

◎PCを活用した振り返りではかなり楽しくかなり盛りあがっていました。その後の小テストでは気持ちを切り替えて集中することができていたことに驚きました。

◎一般的な授業よりも楽しそうで、生徒が授業に参加している感じが伝わりました。

◎中学生への指導の参考となりました。授業の効率化がはかられていると思いました。

◎事前準備が大変だろうと思いました。英語でこのような習得方法があるんだと感心しました。

◇授業にメリハリをつけるために端末を使用することはよいと思っています。

【日本史B】

◇日常からPCを使用して授業を行っています。活用方法としては、分からない語句等を各自で調べさせたり、資料中の歴史的事実の確認のためにラインを引かせたりしています。

◎登場人物の関係を図で示していたのがとても分かりやすかったです。また、PCを使用することで生徒の授業への参加度を高くしていると思います。

◎国語や社会は他と比べて難しいと思っていましたが、上手に授業をされていました。

◎PCを使用することで、プリントを配付する必要がないのでよいと思います。また、プリントの整理が苦手な生徒にもよいと思いました。

◎年間通じて教える内容と授業のペースはどのような感じでしょうか？

◇日本史Bは、室町幕府までを範囲としていますので、計画どおり進めることができます。

◎生徒に学んでもらいたいことは何ですか？

◇歴史を覚えるだけでなく、何故このようなことが起きたのかなど人物や背景に触れて欲しい。また、必要な情報についても各自で調べて欲しいと思っています。

【数学活用】

- ◇数学活用では日常にある数学を取り扱っています。本時は「声を見る」ということで生徒の声を波形にしました。次回以降の授業では、この波形をサイン、コサインを使って数式に表していきます。
- ◎実験を中心に行っていくことで、日常と数学の結びつきを考えることで数学を楽しむことができていると思います。先生と生徒との関係もよかったです。
- ◎とても変わった授業への入り方でよかったです。
- ◎実際に声を出していた生徒もびっくりしていましたが、すぐに波形を見ることができるのがよかったです。とても刺激的な授業なので、次の授業にも入りやすいと思います。
- ◎この波形がどのような数式になるのか興味を持ちました。
- ◎ICTの導入で寝る生徒がいなくなり、積極的に授業へ参加できる形態が作れると思いました。

< 2. 各学年分掌から進捗状況報告について >

● 各分掌学年の進捗状況

教務部、進路指導部、生徒部、保健部、企画部、3年生、2年生、1年生、共生推進教室の取り組みに関する進捗状況を報告。

- ◎コロナ禍によりオンライン化による対応ができています。
寺子屋を開催することで安心した学校生活が送れていると思います。
防災学習のアンケート結果により、生徒が何を知らなかったのかが見えました。
防災を他人事ではなく生徒に意識させることが大切だと思いました。
- ◎ICT研修は生徒も一緒に実施しているのでしょうか？
- この研修は教員向けとして実施し、実際の授業で使用するグーグルミートやクラスルームの使い方について学びました。
- ◎社会にできれば仕事をするうえでPC活用が必要となりますが、生徒のタイピング技術の状況はいかがですか？
- スマホ慣れによりタイピングを苦手とする生徒もいるので、授業で取り組んで行きたいと思います。
- ◎教員の指導力向上への取り組みに記載されている、チームティーチング(T.T)の実践についてお聞かせください。
- 2～3名の教員で担当する授業ができないか現在模索中です。指導力向上に向けた取り組みとして、授業見学週間を設け指導技術を共有できるようにしています。
- ◎1人1台端末のクロムブックの保管庫の取り扱いはどのようにされていますか？
- 保管庫についてはまだ配備されていませんが、充電は自宅でするように指示しています。学校に持ってくることを忘れた場合は、特例として個人のスマートフォンの使用を認めています。
- ◎各分掌、学年がいろんなことにポジティブに取り組んでいただいていると感じました。次回報告いただく際には、時系列に何ができて何ができていないのかを具体的に示していただくとより分かりやすいと思います。
- ◎地域の活動として、ハザードマップの見直しをしました。各小学校区には11月より説明を始めていきます。

- ◎防犯上のこともあるのかもしれませんが、最近の小中高生はあいさつをしても返ってこないことが多い。引き続き、学校との交流を行っていきたいと思います。
部活加入者増加に向けての取り組みと成果について次回ご報告願います。
- ◎授業のICT活用、オンライン化を進めていただいています。生徒には様々なリスクを知らながらPCを使いこなして欲しい。また、高価な物なので取り扱い等の管理指導も大変かと思っています。
- ◎タイの学校では、子どもたちがオンライン授業で使用するPCでゲームばかりするの
で一部の親はオンライン授業をやって欲しくないと言っています。
- 本校では完全オンライン授業は実施していませんが、今後、必要な時に備えていくことが
大切であると考えています。社会文化コミュニケーションコースの授業では、インターネットとの付き合い方について考えさせました。実際に「スマホ断ち」をさせてみました。
- ◎大学では「非認知能力」を測る入試形態が必要となり、昔とは入試のあり方が変わっています。

<その他、校長が必要と認める事項について>

- 各分掌の「取組内容及び自己評価」について資料を準備していますが、今年度の実績等については次回お示しします。本日は資料内容についてご覧おきください。

<授業その他の教育活動に係る保護者からの意見の調査審議に関する事項について>

- 保護者から意見はきていないため特段報告はありません。

校長よりお礼

次回予定

第3回2月上旬 午後3時40分からを予定。